

ニプロ株式会社 ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要

2021年9月



会社概要

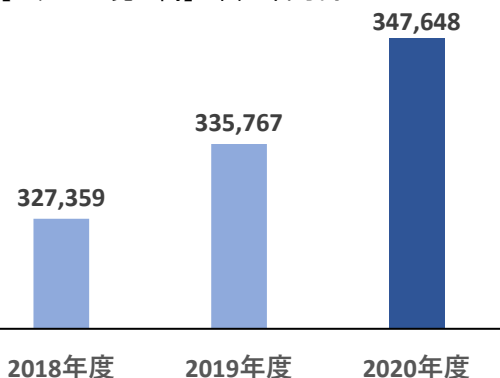
- 経営理念：「真にグローバルな総合医療メーカー」として未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術および事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る



医療関連事業

- 透析関連、人工臓器関連の製品を中心に医療プロセスの各段階・各治療分野向けに多彩な製品を製造・販売
- 2020年度売上高：347,648百万円
(セグメント別構成比76.4%)

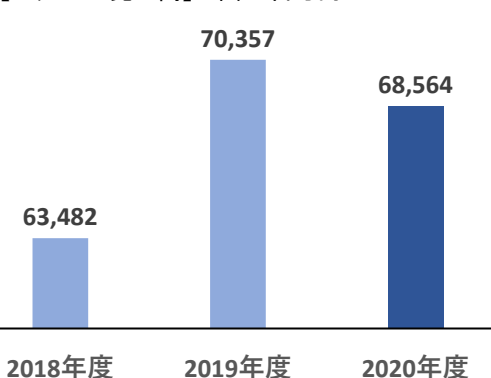
【セグメント売上高】 単位：百万円



医薬関連事業

- 注射剤や経口剤、外用剤など多彩な医薬品の製造受託(CMO)を手がける
- 2020年度売上高：68,564百万円
(セグメント別構成比15.1%)

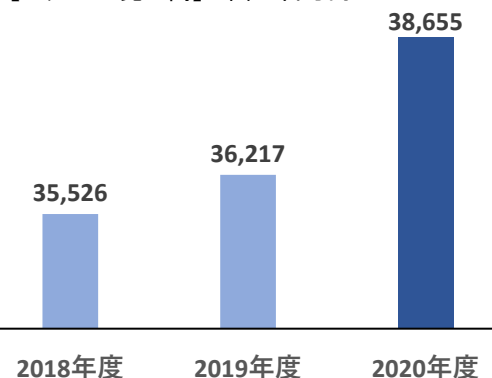
【セグメント売上高】 単位：百万円



ファーマパッケージング事業

- 医療現場に必要な部材を、素材からバイアルなどの成形部材、加工用の機械まで一貫して提供
- 2020年度売上高：38,655百万円
(セグメント別構成比8.5%)

【セグメント売上高】 単位：百万円



ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要①

- 当社事業は、医療機器・医薬品等の安定供給という社会に必要不可欠な取り組みを通じて、世界中の人々の健康とQOL向上に貢献しています。これらの取り組みは、ソーシャルプロジェクトとして社会的課題の解決に資するものと考えています。
- 当社は、この度、当社事業に要する資金をソーシャルボンドとして調達するため、国際資本市場協会（ICMA : International Capital Market Association）のソーシャルボンド原則2021に則り、ソーシャルファイナンス・フレームワークを策定しました。
- また、ソーシャルファイナンス・フレームワークに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センターより「セカンドオピニオン」を取得しています。

1. 調達資金の使途

- 本ソーシャルファイナンス・フレームワークによる調達資金は、以下のプロジェクトの設備投資又は研究開発費に対し、新規資金又は借換資金として充当を予定しています。

対象事業	主な資金使途
国内事業	医療機器製造工場や再生医療関連施設等の設備投資や医薬品等の研究開発 例：ダイアライザ製造ラインの増設、再生医療等製品製造施設の培養設備更新
国際事業	医療機器製造工場等の設備投資 例：ダイアライザ製造ラインの増設
医薬事業	受託医薬品製造工場等の設備投資 例：シリンジ製剤の製造設備の増設（ワクチン接種を見込んだ備蓄用シリンジ等を製造）
ファーマパッケージング事業	医薬用包装材料製造工場等の設備投資や医薬用包装材料等の研究開発 例：生地管製造設備の新設（ワクチン開発メーカー向けバイアル等を製造）

ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要②

2.プロジェクトの評価と選定プロセス

- 当社は、『「真にグローバルな総合医療メーカー」として「未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術および事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る」こと』を経営理念に掲げています。当社事業は、社会貢献を謳う経営理念のもとで行われており、それら事業は社会的課題の解決に資するものであり、全事業がソーシャル性のあるものと認識しております。また、経営理念に沿う形で中期経営計画を策定しており、これらの事業を継続していくことを中長期的にコミットしております。なお、中期経営計画策定のプロセスについては、経営企画本部経営企画部が社内各部と連携した上で原案を作成し、取締役会決議にて承認を得ています。
- また、対象プロジェクトの選定プロセスについては、中期経営計画で策定された各事業の方針に基づき、経営企画本部経営企画部が、設備投資又は研究開発費に該当するプロジェクトの評価・選定を実施し、財務担当役員の承認を得ます。加えて、取締役会において、財務担当役員より報告を行います。

3.調達資金の管理

- 調達資金は当社名義の当座預金口座に入金され、資金の管理は経営企画本部経理部が行います。対象プロジェクト実施にかかる支払は、プロジェクトの支払証憑書類（請求書等）を受領する部署の確認、および依頼に基づき、同部が行います。
- また、同部にて本プロジェクトにかかる支出を社内会計コードにて抽出し、資金の充当額および未充当額を確実に追跡します。未充当資金は、社内規程に基づき流動性・安全性の高い金融資産に限定して運用します。加えて、財務担当役員による資金充当状況の確認を年次で行います。

4.レポーティング

- 当社は、調達資金の全額が対象プロジェクトに充当されるまでの期間、次頁の情報をウェブサイトにて年に1回公表し、また毎年発行の「アニュアルレポート」に記載します。

レポート

1. 資金充当状況に関するレポート

- 資金の充当状況は、年に1回、当社ウェブサイトにて公表します。また調達資金における新規資金および借換資金への充当割合を公表します。
- 調達資金は主に、医療機器・医薬品・医薬品包装材料製造工場並びに再生医療関連施設等の設備投資資金又は医薬品等の研究開発資金の新規資金又は借換資金に充当する予定です。

2. インパクト・レポート

- 調達資金の全額が対象プロジェクトに充当されるまでの期間において、対象プロジェクトのインパクト・レポートとして、守秘義務の範囲内において、以下のアウトプット指標・アウトカム指標等を、当社ウェブサイトにて公表します。

対象事業	アウトプット指標	アウトカム指標
国内事業	<ul style="list-style-type: none">医療機器製造数増加率自社ブランドジェネリック医薬品製造数増加率細胞医薬品製造能力	<ul style="list-style-type: none">医療機器販売数増加率自社ブランドジェネリック医薬品販売数増加率細胞医薬品販売数
国際事業	<ul style="list-style-type: none">医療機器製造数増加率透析センター数増加率トレーニングセンター数	<ul style="list-style-type: none">医療機器販売数増加率透析センターの治療患者数増加率トレーニングセンターの利用者数
医薬事業	<ul style="list-style-type: none">受託医薬品製造数増加率	<ul style="list-style-type: none">受託医薬品出荷数増加率
ファーマパッケージング事業	<ul style="list-style-type: none">製品製造数増加率	<ul style="list-style-type: none">製品販売数増加率




(ご参考) 当社事業全般に係る情報公開

- 中期経営計画やアニュアルレポート等の当社事業全般に係る情報、および有価証券報告書・決算短信等の財務状況に係る情報を当社ウェブサイトにて公表しています。 <https://www.nipro.co.jp/ir/library/index.html>



本フレームワークによるSDGsへの貢献①

- 対象プロジェクトは、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」、日本政府のSDGs実施指針等にも合致するものです。ICMA のSDGs マッピングを参考にしつつ、当社では、以下のSDGs の目標およびターゲットに貢献すると評価しています。

対象プロジェクト	SDGs目標	主な資金使途
国内事業	  	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析が必要な患者さまの生命維持、健康改善、生活の質向上にとっては、必要不可欠な医療機器であるダイアライザを製造・販売 新型コロナウイルス等、新規感染症が流行した際、世界的に需要が高まる、外科用マスク、医療用ゴム手袋、チューブ等の消耗品、採血管、消毒剤等を製造・販売 医療費削減に寄与する自社ブランドのジェネリック医薬品を製造・販売 採算性が悪く、原薬調達に供給不安がある抗菌薬を製造・販売 視覚的困難をかかえる方が錠剤識別できたり、服薬指導や服薬日を書き込めたり、手先の不自由な患者さま用のPTP シート等の年齢や体の不自由さにかかわらず、支障なく使用できるよう配慮された製品を提供・販売 将来の原薬供給不安に備え、一部の抗菌薬において原薬自社開発 離れた場所でも、患者さまの情報をリアルタイムに把握できるICT を活用したクラウド型見守りシステム「ニプロハートライン™」を販売 医療機器情報を電子カルテと連携することにより業務の課題を解決し、医療従事者の働き方改革をサポートするシステム「ニプロ HN LINE®」を販売

本フレームワークによるSDGsへの貢献②

対象プロジェクト	SDGs目標	主な資金使途
国際事業	  	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析が必要な患者さまの生命維持、健康改善、生活の質向上にとっては、必要不可欠な医療機器であるダイアライザを製造・販売 中南米等の新興国において、都市部から離れた地域に居住する患者さまのために、郊外地域に透析クリニックを開設し、利便性の良い透析治療を提供 東南アジアやアフリカにおいても、都市部に透析クリニックを開設し、質の高い治療を提供 新型コロナウイルス等、新規感染症が流行した際、世界的に需要が高まる、外科用マスク、医療用ゴム手袋、チューブ等の消耗品、採血管、消毒剤等を製造・販売
医薬事業		<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の研究開発から供給までの水平分業化を進める中でリスク低減、効率化進展により医療費削減にも寄与する製造受託医薬品を製造
ファーマパッケージング事業	 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器使用中の医療事故を防ぐため、針刺し事故防止機能がついた翼付針、取り違えを防ぐ色で見分けられるシリンジ、異物混入、細菌汚染、針刺し事故のリスクが軽減できるプレフィルドシリンジ、キット製剤等を製造・販売